

報道関係者 各位

平成27年6月16日
真岡労働基準監督署
(担当) 監督課長 中川 徹
(電話代表) 0285(82)4443
(F A X) 0285(82)4725

真岡労働基準監督署が安全週間説明会を開催。 「転倒」による労働災害がトップ！

真岡労働基準監督署(署長 高橋 拓)は、真岡市青年女性会館において、労働災害撲滅のための第88回全国安全週間説明会を開催しました。

- 1 真岡労働基準監督署(以下「真岡署」という。)は、6月11日、真岡市青年女性会館において、第88回全国安全週間説明会を開催しました。

全国安全週間は、戦前の昭和3年に初めて実施され、「人命尊重」の理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、戦中を通して一度も中断することなく実施され、88回目を迎えます。

第88回全国安全週間のスローガンは、

「危険を見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場」

となっています。

説明会には、管内企業154社169名の事業主、担当者が出席しました。

真岡署からは、災害発生状況、全国安全週間実施要項等を説明しました。さらに、労働災害の中で死亡労働災害としては「墜落、転落」災害に次いで多い、「交通」労働災害防止の観点から栃木県警察真岡警察署の御協力により「管内の交通事故発生状況について」と題する特別講演が行われました。

- 2 労働災害発生状況

全国では、平成26年1年間に119,535人(真岡署管内163人)が休業4日以上労働災害に被災し、1057人(真岡署管内3人)の尊い生命が労働災害で失われていることが説明されました。

死傷災害については、従来から多数を占めていた、高所からの「墜落、転落」災害、機械設備による「挟まれ、巻き込まれ」災害を抜いて、「転倒」災害が事故の型別で最も多く(全国22.6%真岡署管内23.9%)なっていることから

「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」が実施されています。

死亡災害については、依然として「墜落、転落」災害(全国24.9%、真岡署管内0%)が最も多く、次に「交通」労働災害(全国21.9%、真岡署管内33.3%)、次いで「挟まれ、巻き込まれ」災害(全国14.3%、真岡署管内33.3%)となっています。